

天塩町地域おこし協力隊 2018年7月～9月活動報告

地域プロデューサー 久保 綾香

7月～9月は大きく分けて以下の6つの活動を行った。

- ① 海外からの研修生の受入準備・研修行程の同行
- ② セミナー・勉強会等の実施
- ③ ヒップホップダンス教室の実施
- ④ イベント・視察受入等の実施支援
- ⑤ イベント・セミナー・研修等を通じた情報収集
- ⑥ その他

各項目の具体的な内容については以下の通り。

① 海外からの研修生の受入準備・研修行程への同行

- オーストラリアのマードック大学 (Murdoch University) の研修生 (大学生) と北星学園大学の学生ボランティアの受け入れに向けた準備 (各種資料の英・和訳、関係者との調整等)
- 上記研修行程への同行 (7/14～18 研修現場での進行、調整、一部通訳等)

7月14日～18日までの間、オーストラリアにあるマードック大学の11名の学生 (+教員1名) が、観光学の研修のため天塩町に来訪した。また、札幌市にある北星学園大学の英文学科の学生4名 (+教員1名) も英語でのコミュニケーション支援のため、ボランティアとして研修に同行した。

研修生らは、日本や天塩町の地域の文化を体験する活動や、国際カヌー大会での運営ボランティア、地元生産者の訪問、近隣地域の先進的な取り組みなどを学ぶ・体験することを通じて、天塩町の観光産業における課題やその解決策について検討した。天塩町滞在中に得た経験や現地調査の内容を踏まえ、研修最終日には調査研究結果の発表会を夕映コワーキングスペースにて開催した。その際、町民や稚内北星学園大学の学生らも参加し、町の観光産業の活性化に向けた議論が行われた。研修行程に同行した際には、研修現場での進行、調整を行うとともに、必要に応じて通訳を行った。

このような団体での海外からの研修生 (大学生) の受け入れは、天塩町としては初めての取り組みであり、自分自身も含め、行政関係者や町民にとって大変新鮮で多くの学びがある充実した機会になったと考える。今後の町のインバウンド対応を見据え、今回の研修受け入れの経験や研修生らからのフィードバックを基に、今後の町づくりについて検討していきたい。また、引き続き町内外の教育機関とも連携しながら、互いに学びあえる機会をつくっていきたい。



天塩川の砂から採れた粘土を使った陶芸教室



国際カヌー大会での運営ボランティアの様子



厳島神社例大祭にて天塩町の伝統文化を体験



研修最終日の調査研究発表会終了後の集合写真

② セミナー・勉強会等の実施

実施したセミナー・勉強会等は以下の通り。

- 英会話・異文化理解（アフリカ体験記）セミナー（7/5）
- 東神楽町「木村塾」における発表（8/17）

英会話・異文化理解セミナーについては、それぞれ「英会話セミナー」と「異文化理解（アフリカ体験記）セミナー」で時間を分けて実施した。

英会話セミナーについては、すぐに使える便利英語や天塩町の食材の説明など、主にマードック大学生のホームステイの受け入れを行う町民に向けた内容とした（しかし参加対象者は限定していない）。ネイティブスピーカーの方にも参加頂き、時折内容を補完して頂くことで、より充実した時間となった。

異文化理解セミナー（アフリカ体験記）では、自身のアフリカ地域でのODA（政府開発援助）事業での業務経験を基に、これまで現地でのどのような仕事・生活をしてきたか、またそうした経験から得た気づきなどを共有した。

「木村塾」は東神楽町の木村副町長が企画・開催する、同町の役場職員向けの自己啓発や能力向上、地方創生関連分野の知識を深めるための勉強会である。主に木村副町長自身が講師となって発表を行うが、不定期で、外部から招いたゲスト講師による勉強会も（「木村塾」内で）行っている。

今回「木村塾」で発表を行う機会を頂き、アフリカ地域での自身のODA業務の経験を基に、国際的な視野を持つことの重要性について発表した。

これまで他町の役場職員と交流する機会が無かったため、こうした機会を通じて意見交換ができたことは大変貴重で参考になるものであった。



異文化理解セミナーでの発表の様子



東神楽町「木村塾」での発表の様子

③ ヒップホップダンス教室の実施

実施したダンス教室は以下の通り。

- キッズクラス (7/30, 9/10)
- エクササイズクラス (7/30, 9/10)
- 初級クラス (7/31, 9/12)

6月に実施したダンス教室では「ヒップホップダンス教室」一クラスとし、参加者の年齢層やレベルなどを分けることなく実施した。しかし、幅広い年齢層の方に参加頂いたため、より自分の希望やレベルに合った内容のダンスレッスンを受けられるよう、7月からはクラスを「キッズクラス」「エクササイズクラス」「初級クラス」の3つに分けて実施した。キッズクラスは小学校低学年くらいまでの子ども向け、エクササイズクラスはダンスのテクニック習得よりも体力づくりを主目的としたクラス、初級クラスはダンスのテクニックを本格的に学びたい人向けのクラスとして設定した。



7月31日の初級クラスの様子



9月10日のキッズクラスの様子

④ イベント・視察受入等の実施支援

天塩町内外で実施された以下のイベントの実施支援を行った。

- 鏡沼しじみ祭り@天塩町 (7/8)
- シーニックバイウェイ北海道オロロンラインルート視察@天塩町 (8/23)
- 筑波大学との中高大連携事業@天塩町 (8/25, 26)
- 北の恵み 食べマルシェ@旭川 (9/15, 16)

⑤ イベント・セミナー・研修等を通じた情報収集

参加したイベントやセミナー、研修等は以下の通り。

- 地方創生フォーラム 2018 への参加@札幌 (8/2)
- 天塩町姉妹都市交流促進協会総会への参加@天塩町 (8/7)
- 「セカクル」(早稲田大学の国際交流サークル)によるイベントの見学@天塩町 (8/10)
- 天塩町電子図書館体験会への参加@天塩町 (8/19)
- JICA ボランティア 帰国報告会・交流会への参加@東京 (8/28)
- INSPIRE (地方創生イノベータープラットフォーム)による地方創生関連イベント・セミナーへの参加@東京 (8/28, 9/3)
- MATAGI フォーラムでのワークショップ・シンポジウムへの参加@東京 (9/1, 2)
- 知床ネイチャーキャンパス 2018 への参加@知床 (9/19~22)

MATAGI フォーラムは自然資源(特に獣肉、獣皮、木材等)の有効活用とそれによる地域の活性化をテーマとしたイベントで、全国の革製品等の製作・販売業者による展示・出店やクラフトワークショップ、シンポジウムなどが行われた。イベントの中で実施された鹿皮を使った巾着作り、生木を使ったスプーンづくりのワークショップに参加し、自然資源を活用したワークショップの進め方などを学んだ。またシンポジウムでは、駆除されたエゾシカをどのように有効活用できるかなどを、北海道で実際にこのような事業を行っている現役ハンターの方から学んだ。

INSPIRE の地方創生関連イベントでは、岩手県雫石町とコラボレーションしたセミナーと和歌山県古座川町とコラボレーションしたセミナーに参加した。今回参加したセミナーは、地方創生ビジネスの現場で活躍する方を講師として招き、地域ビジネスの始め方やきっかけづくりの方法を学ぶとともに、全国の都道府県とコラボレーションし、その都道府県の事業事例を紹介し、その都道府県の移住を促進することを目指す内容となっている。

岩手県雫石町とコラボしたセミナーでは、同町にある農地付き住宅の販売区画「コテージむら」を VR (ヴァーチャルリアリティ) システムを使って体感するという先進的な方法を用いて町の PR が行われた。今後こうした新しい手法を用いて町の PR を行うことは、より多くの人々に楽しみながら町のことを知ってもらううえで役に立つと感じた。

知床ネイチャーキャンパスは、科学的な野生生物保護管理の先進地である北海道・知床で、この分野の第一線で活躍する大学教授らが講師を務め、講義、野外実習、グループワークなどを体験する教育プログラムである。今回は、地域産業(漁業、観光業、農林業)と野生生物との共存をテーマとし、様々な内容の講義や実習が行われた。研修では、現地での野生生物保護管理と観光産業の現状や課題について実例を交えた話を聞きながら、実際にどのように課題を解決すべきかを 3 日間かけてグループごとに検討した。最終日には、斜里町の議員や行政職員、知床財団などの方々の前で発表を行った。



JICA ボランティア帰国報告会・交流会での自治体紹介の様子



MATAGI フォーラム 鹿皮を使った巾着作りワークショップでの製作の様子と完成品



MATAGI フォーラム 生木を使ったスプーン作りワークショップ（作業開始前、写真左は見本）



INSPIRE の地方創生関連イベントにて、VR を使って岩手県栗石町の「コテージむら」を体験



知床ネイチャーキャンパスにて、羅臼の昆布漁師の方から昆布の製品詰めの方法を教わる研修生



知床ネイチャーキャンパスにて、知床五湖で観光客とヒグマが共存するための施策を学ぶ

⑥ その他

- サッカーワールドカップ勝敗予想@天塩町宇野牧場（7/1）
- GohGanTakao ポップアップレストランにおける天塩町食材の利用方法を見学@札幌（7/9, 10）
- 北海道大学の学生の天塩町実習に参加@天塩町（9/13）
- 「天塩川を清流にする会」の野鳥調査に参加（9/25）



GohGanTakao で提供された、天塩町食材を使った料理①(天塩町シジミを使ったペスカトーレソース (パスタ))



GohGanTakao で提供された、天塩町食材を使った料理②(宇野牧場のヨーグルトを使ったタリアテッレ)

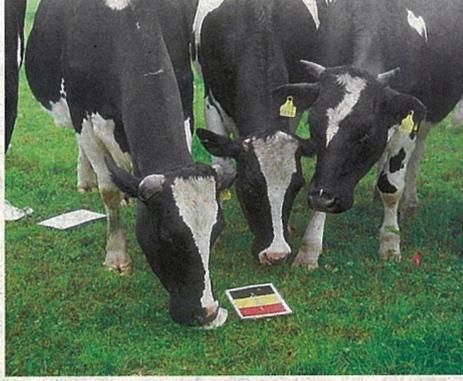
以上

どっちが勝つ?... 食ったのはベルギー

W杯日本戦 天塩の牛が予想

【天塩】サッカー・ワールドカップ（W杯）決勝トーナメントに合わせ1日、「酪農のまち」天塩の乳牛たちが、3日未明に行われる日本―ベルギー戦の勝敗を占った。ベルギーの「勝ち」を予想した。

町地域おこし協力隊が企画。町サラキシの宇野牧場の乳牛の近くに、ベルギー名産の焼き菓子ワッフルと、日本の伝統食おにぎりをそれぞれ皿に置き、約10



ベルギーのワッフルを置いた皿に興味津々の乳牛

分間で多くの牛が近寄った。国を「勝ち」と予想した。ワッフルの甘い香りが魅力的だったのか、ベルギーの皿に近寄ったのが約10頭、日本の皿には3頭だった。

ただベルギーを「食った」と解釈できないこともない。同牧場の牧場主、宇野剛司さん(35)は「予想の白黒がはっきり返ってくることを祈っています」と話していた。(福田講平)

2018年7月2日(月) 北海道新聞朝刊(上北版)に掲載

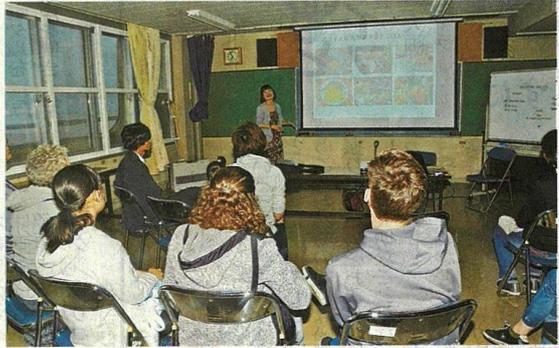
アフリカ滞在体験語る

天塩の協力隊員久保さん 英会話セミナーも

【天塩】町地域おこし協力隊員の久保綾香さん(29)がアフリカ滞在の経験を語る「アフリカ体験記」と初心者向け英会話セミナーが、町社会福祉会館で開かれた。

5日に開かれ、町民ら15人が参加した。海外開発コンサルタント会社時代にアフリカで政府開発援助(ODA)に携わった久保さんが、アフリカでの仕事を選んだ理由や現地の生活について話した。

久保さんはモザンビーク



アフリカでの生活などについて理解を深めた「アフリカ体験記」

共有アプリを活用した写真などを堪能してもらおうと、周遊ルートづくりやイベント開催に取り組む。

設立を呼び掛けた石狩市の厚田保健センターで開かれた初会合には4市町村の首長全員が参加。会長に田

折田智之

で、日本人のように時間に正確で自主的に掃除を行うドライバに出会った経験を語り、「アフリカ人は時間ルースといった固定観念を持たず、個人を見てほしい」と訴えた。

英会話セミナーは、今月中旬にオーストラリアの大学生が天塩に研修に来てホームステイすることを受けて行われた。久保さんは、話題になりそうな町特産のシシミや山菜の英単語を紹介。研修生が病気になることを想定した実践的な英会話を教えた。(福田講平)

2018年7月12日(木) 北海道新聞朝刊(留萌・宗谷版)に掲載

留萌・宗谷 きょうと明朝の天気

	きょう							明朝							
	6時	9	12	15	18	21	0	3	6	9	12	15	18	21	0
留 萌	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
羽 幌	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
天 売	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
焼 尻	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
天 塩	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
稚 内	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁

最高気温 最低気温

きょうの最高最低気温は15時までのアメ

5ミリ未満 5-10ミリ未満 10ミリ以上